

科目名	看護倫理学 Nursing Ethics		担当教員 (研究室番号)	安部 彰 (505)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・実践基盤看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	看護実践に欠かせない倫理的思考・態度を養う。医療・看護倫理の歴史・主要概念・倫理問題等について解説するとともに批判的に考察する。											
ディ'ロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度)										
	関連するDP	G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)										
到達 目標	1. 医療・看護倫理の歴史を理解し、説明することができる。 2. 医療・看護倫理の主要概念を理解し、説明することができる。 3. 看護における倫理問題を理解し、考察することができる。 4. 専門職倫理としての看護倫理を十分に理解し、臨床の場面で実践する備えができています。											
成績評価方法 (基準)		平常点 (コメントペーパー) (24%) 期末レポート (76%)										
再試験の有無と 基準等		不合格者は再試験を受験できる。ただし期末レポート未提出者は再試験を受験できない。また再試験では、評価に平常点は含まず、試験結果により可否のみを判定する。										
教科書		授業プリントを使用する。										
参考書等		授業時に適宜紹介する。										
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待		倫理学を学ぶことで自己理解をさらに深めるとともに想像力・感受性を養ってほしい。君たちが医療・看護における倫理問題に本格的に直面するのは臨床に出てからになるが、この授業でもそれらの問題を他人事ではなく「私の」問題と受けとめて真摯に理解・考察してほしい。またコメントペーパーは教員と学生がコミュニケーションをとるための貴重なツールとしても積極的に活用してほしい。										
備考												
回	学習項目			学習内容					主担当 教 員	授業 方法		
1 回	イントロダクション			授業の目的・意義について説明する。					安部	講義		
2 回	応用倫理学 医療・生命倫理学①			応用倫理学の目的・意義について解説したうえで、医療・生命倫理学の歴史的展開について解説する。					安部	講義		
3 回	医療・生命倫理学②			医療・生命倫理学の歴史的展開とともに、その主要概念について解説する。					安部	講義		
4 回	看護倫理と看護倫理学①			倫理綱領の要点 (看護師の基本的責任など) とともに看護倫理の主要概念について解説する。					安部	講義		
5 回	看護倫理と看護倫理学②			前回到ひきつづき、倫理綱領の要点 (看護師の基本的責任など) とともに看護倫理の主要概念について解説する。					安部	講義		
6 回	看護倫理と看護倫理学③			前回到ひきつづき、倫理綱領の要点 (看護師の基本的責任など) とともに看護倫理の主要概念について解説する。					安部	講義		
7 回	看護における倫理問題			看護における倫理問題について解説する。					安部	講義		
8 回	まとめ			授業の要点のふりかえり。					安部	講義		

学 習 課 題
・ 1～8 回目課題 (事後) : コメントペーパーの提出 (1 回につき満点 3 点)

実務経験を活かした教育の取組